

令和6年度はなぞの保育園自己評価

令和6年度保育において良くできたと思うこと（努力したこと）

- ・職員間での情報の共有・園内研修などで知識の向上に努めた。
- ・子どもたちが安心して過ごせるよう信頼関係を築き、自分で出来る・やりたい気持ちを受け止め「できた」と、言う思いに共感し、自発的に行動できるよう心掛けた。
- ・保護者の方と家庭との連携を取りながら子どもの情緒の安定を図ることに努めた。
- ・子ども主体の関わり方、禁止や命令にならないように肯定的な言葉かけを心掛けた。
- ・以上児クラスのサポート行事の手伝い。
- ・送迎時など保護者の方とのコミュニケーションを図るように心掛けた。
- ・子どもたちにとって安心できる心地よい環境作りに努める。
- ・知り得た情報は守秘義務を守り、園児には寄り添う言葉かけや態度で接することに努めた。
- ・（栄養士）安心安全な食事の提供・食中毒や感染症予防に務めた。

令和6年度保育においてこれからの課題と思ったこと

- ・心に余裕を持って子どもたちの気持ちを受け止め成長・発達を援助し、子どもたちに寄り添った保育。
- ・保育士による園児に対する虐待等の不適切な保育・保育士として子どもたちの人権を尊重し、言葉遣いに気を付け、最良の関わり方が出来るように努めて行きたい。
- ・子どもたちの発達に合わせて環境作り、遊具の提供、遊具の発達の狙いを持って提供すること。
- ・自己評価により資質や専門性の向上の大切さを感じ努力して行く。
- ・（栄養士）食べている様子などクラスに行ってみる。月齢に対する食事の目安過食が肥満の原因となるので適量をよく噛んで食べる習慣を身につけて行くように指導する。

総評

保育園での虐待等の不適切な保育が起きないように、些細な気付きや心配なことを解決出来る環境を作る。職員間で、お互いが気に掛け注意し合える関係性を結んでいきたい。
問題点があれば、全体的に知らせそれぞれを意識して見直し、共通理解をしていく。

（自己評価は、保育士、栄養士、看護師を含む）